

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2021

5月号
vol.658

月刊

同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



動画も観れます

特集

Join us 広報情報委員会

21世紀型
自立型
企業づくり

感動の輪を広げる

嶋田 郷士 氏 洋菓子店サクレクール



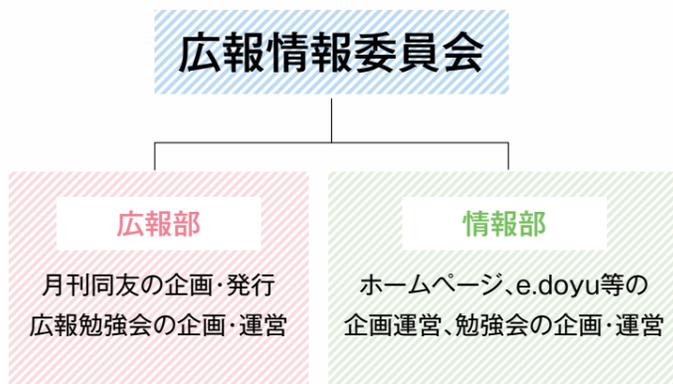
ポケット月刊同友

Join us

同友会の魅力を広げる

広報情報委員会

福岡同友会広報情報委員会の目的は同友会の魅力を会内、会外へ広げ、運動や活動を促進させることです。目的を達成するために、いまご覧いただいている「月刊同友」の発行や「同友会ホームページ」、委員会に関わる各種勉強会の企画・運営を事務局とともにこなっています。新しい仲間も大募集です！一緒に同友会を盛り上げていこう!!



中小企業の経営において大事なことは、今まで社会がどう動いてきたか、業界や自社がどう変化してきたかなど、現在の社会情勢や自社の経営状況などで今起こっていること、そしてこれから起こり得る未来の社会がどう動くのか、経済や業界の将来を見通すことです。これらは私たち経営者が求めている情報です。

中小企業にとっての情報とは

広報情報委員長
濱田 満広 (大牟田支部)



2021年度 広報情報委員会の活動

広報情報委員会の役割

同友会で学び、自社の経営において学びを実践し成長できることが同友会の魅力です。

同友会の会員と会外へ、過去から現在、未来を知るための情報を正確に早く伝えることが広報情報委員会の役割です。

また、同友会理念を学び経営指針を確立して輝いている企業、委員会活動、地区会、各支部の活動なども伝えなければならぬ情報です。

地域においては、会員企業の頑張りや町が活性化している事例もあります。会員企業の成長と地域での奮闘が地元経済の発展につながり、中小企業の認知度も高めています。

活動方針

このような魅力を会内、会外へ「月刊同友」や「福岡同友会ホームページ」を通じて「正確に早く発信すること」が広報情報委員会の活動方針です。広報情報委員会は年間を通して情報を発信することで、福岡同友会の理念と方針を伝えていきます。同友

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

はみだしレポート

今月の自立型企業づくり



洋菓子店サクレクール 代表者
しまだ 郷士 氏 (かすや支部)



私が嶋田さんをご紹介します
くぎた経営労務事務所 代表者
釘田 直樹 (かすや支部)

洋菓子店サクレールの代表嶋田郷士さんをご紹介します。私と嶋田さんとの出会いは、約5年前に共通の知人から「経営やスタッフのことで悩んでいる人がいるので相談にのってくれないか」とのことでお会いしたのが始まりです。

第一印象は、経営者というより高い技術力を持った典型的な職人さんという印象が強かったと記憶しています。その後、色々とお店の話をするなかで、他業種との触れ合い（他

流試合）も必要かと考え、私が同友会を紹介し入会されました。

入会してからの嶋田さんは、積極的に支部の役を引き受けて、例会やブロック会等にも参加し、水を得た魚のように学びを実践・行動されています。

今後は、お店の発展やスタッフの成長を陰ながら応援しつつ、同友会活動でも学ぶ立場から伝える立場へ益々のご活躍を期待しています。

今月の表紙



洋菓子店サクレール 代表 嶋田郷士 さん (かすや支部)

撮影・文 / 株式会社ココスイメージ 富谷正弘 (玄海支部)

今回の表紙は洋菓子店サクレールの嶋田さんです。手にしているのはサクレールの看板商品のレモンケーキ。嶋田さんの優しい笑顔が印象的な一枚の写真です。さっそく愛妻へのお土産にレモンケーキを買い求めました。レモンの酸味とケーキの甘味、サクッとした食感がたまりません。ご馳走様でした。



会運動、活動を広報することで会員数の拡大など会の発展、地域への貢献につなげていきます。

広報情報委員として

私は同友会に入会してからすぐ広報情報委員になり、現在に至っています。正確な情報を速く伝えるには同友会理念や運動を理解し、情報を正確に伝えるために日頃からの学びを大事にしてきました。

今まで委員会にて同友会の歴史を学び、広報情報交流会を開催し、全国の同友会で情報を伝える取り組みを学んできました。



2019年度に開催した広報情報交流会の様子

広報情報委員会は社会で起こっていることを研究し、最高の企業経営を学び、また会員の方が活躍している現場へ行き、肌で感じた情報を発信できるというとてもやりがいのある委員会です。

取材力、文章力、写真の技術のスキルもアップします。今は本部事務局や福岡市内に出てこなくてもZoomを利用して活動できます。

委員会や地区会、各支部から広報情報委員を募集しています。



広報部会長
菅原 弘(東支部)

広報部は月刊同友を通じて会の内

「自立型企業づくり」の取材に参加しませんか

- 同友会理念に軸足を置く
- 会員目線で見ると
- 現場主義
- 活動に参画する

外に同友会理念の実践の事例を発信してきました。その発行は658号を数えます(つまりほぼ55年も続いています)。

表紙は内容に連携した写真を掲載し、QRコードで動画を紹介しています。またアンケートも記事ごとに問うようにして、読者の皆様に喜ばれる誌面へとさらなる充実を図っていきます。

特に特徴的な活動は、「自立型企業づくり」の取材です。広報部会

部会員や事務局から推薦された会員企業を訪問し取材します。中協からは、自立型企業(21世紀型企業)と



今月号の取材の様子

の具体化のために自社の強みをどう戦略に落とし込んでいるか、どのような社員教育を行っているか、目指すべき方向性などをお聞きしています。そして最後には自立型企業とは何かをお聞きしています。

紙面に制限があるので全てを記載できません。ぜひ、取材に参加してみませんか。現場を見学することも醍醐味です。



取材時には支部会員の皆さんも駆けつけてくれます

情報部の2021年度活動方針・計画について



情報部会長
齋藤 純(博多支部)

活動目的は

情報部の活動目的は、①同友会活動を、地域の人達やメディアに向けてPRすること、②同友会活動を、会の内外に向けて発信すること、③同友会への入会を、同友会を知らない地域の経営者に促進することの3つです。

活動目的の達成手段は、福岡同友会の運動体としての情報を発信する①県の広報サイトの管理及び、多様な付帯活動の情報を発信する②支部・委員会・部会向け約30組織の情報投稿サイト群(ブログ)の管

7年振りのサイトの見直し

理と利用促進並びに、全国同友会の組織活動支援システムとして提供されている③e.doyuの利用促進の3つに代表されます。

前回(2014年6月)のホームページのリニューアルからはや7年が経過し、県の広報サイトと支部・委員会・部会のブログをリニューアルすることに致しました。

「スマホによる情報コミュニケーションが主役となった時代の要望」に適切に対応するために、福岡同友会の全会員に向けた改善提案のアンケートとヒアリングを積み重ねた結果、スマホとパソコンの両方で利用できるハイブリッド対応に向けたコンテンツの大幅な見直しが必要であるという結論に至りました。

2019年1月から「ホーム、ページリニューアル・プロジェクト」を新設したことで意見や活動に幅と深みが増し、方向性がさらに具体的にかつ明確になりました。

SNSの公認

2020年6月からは、Facebookに代表されるSNSの活用を検討するSNS作業部会との活動連携を開始しました。SNS活用への理解と注意と運用に向けた仕組

Facebookをはじめ様々な発信媒体で情報を伝えています



みを整備した「ソーシャルメディア・ガイドライン」の策定を通して「SNSが公認」となり、スピード感溢れる広報ツールの誕生で、情報発信の場が広がりました。

委託会員企業選任の コンペへ実施

2021年1月には、県の公式サイトと支部・委員会・部会のブログの見直しと、運営管理を委託する会員企業の選任に向けた「リニューアル・コンペ」を実施し、多様性を持った個性的なノミネート会員企業の中から、候補企業を選任するまでに至りました。

方針と計画

情報部の2021年度活動方針と計画は、約3年間にわたる準備の集大成として、今秋リニューアル公開予定の福岡同友会の公式サイトと活動の情報発信の投稿サイトのウェブメディアとソーシャルメディアの連携です。

広報情報委員会SNS の取り組みについて



広報部副部長
南 史聡（西支部）

福岡同友会では、2020年から「SNS利用ガイドブック」を策定しました。これは、同友会活動の発信とだけでなく、会員企業がソーシャルメディアを利用する際の指針としても利用できるものです。

ガイドラインの説明会も複数回開催しており、各支部、委員会のソーシャルメディアの運営に利用されているものと思います。

ソーシャルメディアは、中小企業が自社の商品や活動をPRする手段として大きな力を発揮する可能性を秘めています。しかし、利用方法を誤ると、イメージを損ねたり、思わぬ損害

を被ったりする場合もあり得ます。

福岡同友会でも、ソーシャルメディアはさまざまな支部、委員会、会員増強や会員間の情報共有に利用されていると思いますが、今後はますます取り組みの幅が広がっていくものと予想されます。

広報情報委員会は、福岡同友会の広報活動を担っており、月刊同友会や公式ホームページを通して、会の内外に向けて活動内容を広く発信しています。そして、ソーシャルメディアの利用においてもその役割は変わらません。そこで現在、広報情報委員会は、会員企業のモデルとなるソーシャ

ルメディアの運営に取り組んでいきます。運営方針は左図の通りです。

ソーシャルメディアは、継続することでメディアとしての発信力や信頼性が培われていきます。しかし、その仕組みが伴わなければ継続が難しいということも事実です。

広報情報委員会のソーシャルメディアは、福岡同友会の内外への発信に加え、支部や委員会、また企業としてこれから取り組もうというみなさんにとつて、どこから取り組めばいいのかどのように継続すればいいのかを学ぶための、ガイドラインのような役割を果たしたいと考えています。

1 定期的な発信

ソーシャルメディアは、1回2回または不定期な投稿ではなく、定期的に情報発信をすることで発信力を伸ばすことができます。

2 ルールに基づいた発信

思いついたことをその都度発信するのではなく、一定のルールに基づいた内容を発信することで、情報の質を高めることができます。

3 継続的な発信

発信のルールを共有することで、構成メンバーが交代しても安定した運営を続けることができます。

4 動画による発信

文字情報だけでなく、映像や音声による発信をすることで、情報の幅を広げることができます。

21世紀型自立型企業、づくり

感動の輪を広げる

「洋菓子作りも同友会活動も」

手に職をつけよう

今回の取材は洋菓子作りに勤む嶋田郷土さんです。

嶋田さんは昭和47(1972)年、福岡市東区で生まれます。父親の資久さんは明太子の会社に勤めていました。昭和50(1975)年の山陽新幹線の博多駅乗り入れを契機に、明太子は博多名物として全国的にその名を広めていき、とても忙しく働いていました。気難しい父親でしたが、小学生の郷土少年が作るご飯は「うまい、うまい」と言って食べていたそうです。「うまいと笑いでウケるは似た感覚でした」と自己分析する嶋田さんです。

高校に進みましたが、勉強せず就職先も決まらないまま卒業しました。世の中はバブル期で「そんなに切羽詰まった感じはありませんでした」と振り返ります。

洋菓子店サクレール 代表者

嶋田郷土氏

かすや支部

職人肌の嶋田さんは、ケーキづくりの忙しさに追われていました。経営の学びの重要性を痛感し同友会で尽力しています。

取材 広報部
文章担当 菅原 弘(東支部)
写真 真 富谷正弘(玄海支部)

さすがにお金はありませんでした。たまたま目に留まった求人誌に、「静岡県の自動車部品工場で1ヵ月45万円」という文字が目に入り、友人と3人で向かいました。いざ働いてみると単純作業の連続で、友人の1人が2週間で音を上げて



しまいました。断念して福岡に帰る道すがら、嶋田さんは考えました。「こんなことではダメだ。何か手に職をつけなければ……」

そんな折、嶋田さんの目に留まったのは、福岡市内の洋菓子店の求人でした。知名度もあり、九州中の洋菓子店から2代目を預かる店でした。「全くの未経験者でしたが、師匠に『イロハ』から教えてもらい、必死に食らいついていきました。ここで菓子作りの基礎を覚えまして」

ヨーロッパ修業

師匠からは「いつかは後継者に」という思いが見え隠れしてきました。しかし嶋田さんには「自分の力を試してみたい」



という野望がありました。

そこで師匠に「外に出て修行してみたい」と申し出ました。「東京というと反対されそうだったので、フランスと告げました」。師匠からは「社員旅行でフランスに行かせるから、そこで仕事を先を見つけきたら、出させてやる」と確約を取り付けました。

現地で邦人コミュニティ向けの情報誌でたまたま運良く、日本人マダムが営むパン屋の求人を見つけました。フランスでは、パン屋はケーキや惣菜も作ります。給料なしで住み込みという条件で契約しました。

平成7(1995)年9月から、武者修行が始まります。文化の違いを痛感したと言います。日本人には特有の『暗黙の了解』のようなものが存在して、「それくらいわかるでしょ」という気持ちがありますが、フランスではとにかく自己主張しないと仕事が取れないと痛感しました。半年ほどお世話になり、次の店に移ります。コミュニティツールは『紹介状』です。

今度は給料をいただくようにしてもらいました。日本人は勤勉で給料が多少安くてもよく働くという定評があり、半年働きました。

休日に訪ねたお隣のベルギーのお菓子は、クオリティーや生産性が高いという

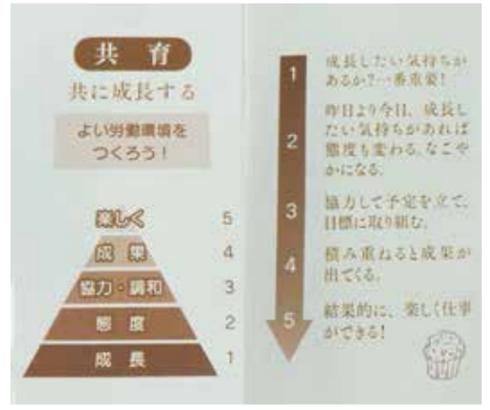
「うまくいかない原因は自分の中にある」と諭され、ハツとしました。

ビス業経験者、ベーカリー経験者、新卒採用2名の5人体制で臨みました。しかし、次々と独立や退職していきます。「コミュニティシオン不足かな」と感じていました。人手不足になり、嶋田さんは夜遅くまでケーキづくりを余儀なくされ、身体を壊してしまい入院しました。

経営に悩んでいる中、粕屋町商工会から釘田直樹さん(くぎたのちか)経営労務事務所代表者かすや支部 当時支部長を紹介されました。本場に懇切丁寧に話を聞いてくれました。「今まで職人としてケーキを作るばかりで、経営のことを学んでいませんでした。うまくいかない原因は自分の中にあると諭されました」

同友会に入会し、すぐに『あすなろ塾』を受講しました。「とにかく頭の中がパニックになりました。何とか作り上げた経営理念は次の通りです。

「甘みを通して、個人・家庭・職場・地域を笑顔にし、感動の輪を広げる」
 続けて2泊3日の経営指針作成セミナーにも参加しました。
 「会員の方々が親身になってアドバイスをいただくことに感動しました」



嶋田さんが特に注力したのは長時間労働の是正でした。かなりの努力を重ね、現在は1日8:5時間、週休2日制、(残業月20時間程度)になりました。

また同友会で若菜真一さん(わが菜)からリーニング 代表取締役 福友支部から『成長のピラミッド』という概念を教えてくださいました(左図を参照)。

「こういうことをやれたかったんです。目からウロコが落ちました。早速ルールブックを作り、社内での理念の徹底や仕組みづくりに活用しています。仕事内容をステップごとに定義して給料に連動さ

印象を持ちました。そこで次は、ベルギーで半年、働くことにしました。次にフランス西部のアンジェの街に移り1年働きました。都合2年半修業しました。帰国して師匠に報告し、福岡市内で働くようになりました。

独立開店へ

1990年代、日本では料理番組等で菓子職人(パティシエ)が注目されたことをきっかけに、パティシエとして働くことに憧れる人が増えました。それに合わせ、

洋菓子店が増え、求人が増えていきました。福岡市の天神にあるお店で、嶋田さんが就職の面談を受けたところ、翌日でも来てくれという返事でした。しかし、いざ働いてみるとんでもなく長時間労働でした。当時の業界では当たり前でした。

嶋田さんは3つのお店を渡り歩き、独立開業へ進みます。平成18(2006)年10月のことです。

物件はテナントデザイン会社に一任しました。条件は風の通る道、すなわち生活圏の道路沿いで駐車場があることでした。

店名の由来は、バリ市内のモンマルト

せています。またキャリアカードを社員やアルバイトに配り、職場に復帰しやすい仕組みを作っています」

嶋田さんのお菓子作りのこだわりは『泡』です。ホイッパーでの泡の加減が、おいしさに繋がります。作業を数値化、マニュアル化して、だれでもつくれるようにつくろりティーを維持する仕組みづくりに専念しています。

看板商品はレモンケーキです。姉妹品として、イチゴケーキ、カフェケーキをラインナップし、みかんケーキや抹茶ケーキ、わらび餅にも幅を広げています。『福岡みやげ』を作ることビジョンに掲げています。

今のところは対面販売に徹し、半径5キロをターゲットにポイントカードでお客様の囲い込みを図ります。

同友会活動

支部ではブロック長を務めることになりました。例えづくりでは役割を細分化して明確にし、誰でも担当できるようにマニュアル化し取り組んでいます。「同友会の学びで助かりました。例会づくりに携わることにより学びが深くなります。ここでも感動の輪を広げたいですね」と嶋田さんは語ります。セミナー同期の活躍に刺激を受けると言います。



ルの丘の頂にある教会堂にちなみ、アットホームでハイクオリティーの店を目指しました。洋菓子に和のテイストを吹き込みたいと考えていました。

経営に悩む

お店は順調に地域に支持されていきました。この業界は修業して独立していくことは喜びとされます。自分がそうだったように、夢をかなえることを重要視していました。一方で従業員を育て共に育ち店を充実させるという、相反する命題もあります。

平成29(2017)年にホテルでのサー

価格決定権を持つ

取材の最後に嶋田さんの考える自立型企業についてお伺いしました。「価格決定権を持つことでしょうか。私どもの仕事に対して、価格が価値の現れです。そしてその価値に満足して『おいしい』と周りに勧めてくれる、そんなお店でありたいと思います」

取材協力ありがとうございます。

洋菓子店サクレクール

創業 2006年10月
 住所 糟屋郡粕屋町 長者原西2-4-14
 電話 092-939-4649
 従業員数 社員2名、パートアルバイト5名
 事業概要 レモンケーキ等焼菓子ギフト商品、パースデーケーキ等の季節生菓子、アイスクリーム、チョコレート商品



災害やコロナ禍の中小企業問題

2021年3月13日(土)に、オンラインにて、

中小企業家同友会全国協議会(中同協)主催の第51回中小企業問題全国研究集会が開催されました。

本大会は、東日本大震災から10年の歩みを見て、感じて、これからの経営を考える場としたいという想いで開催されました。その中でも第1部のパネル討論「東日本大震災『あれから10年』」と、第2部のテーマ別報告についてまとめました。

パネル討論

東日本大震災 あれから10年

現状・課題・展望について

鋤柄：「REES (The Recovery from the

Great East Japan Earthquake & the Shift to a "Sustainable Society)"とは

「東日本大震災からの復興と持続可能な社会をめざして」の略です。中同協東日本大



鋤柄 修 氏

震災復興推進本部研究グループの名称です。私はその代表を務めさせていただきます。

ます。それでは、被災三県の現状や課題、展望を共有したいと思います。

コーディネーター

鋤柄 修 氏

(株)エステム 名誉会長
中同協REES代表・相談役幹事

パネリスト

田村 満 氏

(株)高田自動車学校 取締役会長
岩手同友会 代表理事

パネリスト

鍋島 孝敏 氏

日東インダ(株) 代表取締役会長
宮城同友会 代表理事

パネリスト

渡部 明雄 氏

アース建設(株) 取締役会長
福島同友会 副理事長

田村(岩手)：私は岩手県陸

前高田市で自動車学校を営んでいます。少子化が進む中で18歳の人口がとても気になっています。人口は、被災前は2万4千人だったのが現在は1万8千人にまで減少しました。そんな中でも出生人口が80〜90人と維持しています。うれしいことです。私たちの『なつかしい未来創造株式会社』の活動の成果が出たと思います。

鍋島(宮城)：画期的だったことは行政方

針の大転換とも言えるグループ補助金が導入されたことです。しかし、復旧のみにしか適用されず、違う業態になってもいけない、用途の変更もできないという制約が大きな問題となりました。加えて、沿岸地域の主幹産業でもある水産業は、大打撃を受けた後、販路が途絶え(簡単には回復せず)、原料

となる漁獲量が減少し、人材不足が続くなど今も地域課題が山積しているのが現状です。

渡部(福島)：第一次産業は苦勞しています。高齢化が進み後継者がいません。建設業は復興バブルがありました。中小企業が淘汰されています。台風やコロナも影響しています。

鋤柄：同友会事務局の動きはいかがでしたか。

田村：自分たちのケアで精一杯でした。事務局から、全国の仲間からの支援物資が新潟経由で来るという情報があり、とてもうれしかったです。当時、若者たちの定着を願って10年後500名の雇用を創り出そうと活動していました。

鍋島：当時から代表理事を務めていましたが、正直なことを言うと、自社の対応で精一杯でした。しかし、同友会の強みの一つは事務局も主体者であるという点です。宮城の事務局は事務局自身の判断で安否確認も含めて必死に会員企業を回っていました。非常時における事務局の初動が速かったことが今にも繋がっています。

渡部：浜通りの被害がひどかったです。福島

事業の復興の支援をしてもらい、社員の雇用を守りました。対策本部を設置し、経営のための資金や補助金の情報を提供しました。全国からの義援金が絆を強めました。事務局との連携、仲間との連携が本当に深まりました。

東日本大震災の教訓

鋤柄：改めて東日本大震災の教訓、それぞれどう活かしていくかをお聞かせください。

田村：震災の時には『社もつぶさない』という旗を掲げました。2007年に我々の気仙支部は立ち上がりました。もともと地域の経営環境を良くしようという観点から、結束していました。その頃から会員同士で決算書を持ち寄り、意見を出し合いました。地域が良くなるなければ我々の存在はありません。経営者魂、使命感がありました。



田村 満 氏

鍋島：「地域版経営指針書」でもある中小企業振興基本条例の制定が広がりました。2013年に白石蔵王支部の役員が北海道同友会別海地区会へ学びに行ったことがターニ



鍋島 孝敏 氏

渡部：原発の避難地区で「記録誌に残そう」と機運が高まり『逆境に立ち向かう企業家たち』を発刊しました。これは相双地区の全社を回ってヒアリングし、困っていることなど聞いて回りました。「聞いてもらって心が和んだ」とも言われました。全国の事務局から応援に来ていただいて作り上げ、全国に配りました。

鋤柄：REESでは、エネルギーシフトに取り組んでいますが、まず先進国のドイツやイタリアを視察しました。岩手ではこの運動にいち早く火が着きました。

田村：化石燃料の使用を減らしたい、お金を節約したいという思いでした。そうした燃

料を買うためにお金が地域外に出てしまいま
す。産油国ではそうしたお金で、化石燃料
を使わない街づくりをしています。鋤柄さん
も自ら取り組んでいるそうですね。

鋤柄…パネリストから逆に振られてしま
いました(笑)。自社(株エステム)の社屋ビ
ルをゼロエネルギーオフィスにしました。自
宅もゼロエネルギー古民家にしました。同友
会の人と連携して、人とのつながりを改めて
感じました。

渡部…福島は再生可能エネルギー100%と
いう目標を掲げました。現在はそれに向かって
動いています。小名浜には石炭基地ができて
CO2削減の発電所ができます。再生可能と



渡部 明雄 氏
として太陽光やバイオ
マス、またうまくいっ
ていませんが風力、
そして水素エネルギ
ーもあります。

鍋島…「ピンチの時こそ一歩前に出るこ
」が教訓です。震災から2か月後〜3か月後

に開催した「就職ガイダンス」や「合同企
業説明会」の開催は、現在の行政や学校と
の関係づくりに繋がっています。

ポストコロナ

鋤柄…ポストコロナへの取り組みはかがでし
ようか。

田村…我々は3・11で大変な経験をし
たから、コロナについて取り立てて驚くことは
ありません。経営指針書がしっかりしていれ
ば、それを実践することで乗り越えられます。
陸前高田では、発酵パーク(株)カモシーを立ち
上げたところ、大勢のお客さんが来てくれま
した。コロナが収束したとしても、元には戻
らないでしょう。違う世界が待っていると思
います。

鍋島…地域の問題は、人口減少、高齢化、
地場企業の衰退です。これは震災前、新型コ
ロナウイルス感染症が広がる前からの問題で
す。自社の経営理念の「社会性の自覚」か



報告者
高瀬 喜照 氏
(株)高瀬金型 代表取締役
愛知同友会 理事

も社員を増やしていくことにしました。
共同求人委員会で新卒採用しました。障
がい者雇用もしています。社員は5名から現
在115名になりました。社員の成長の姿を
見るのが私の喜びです。
同友会は経営感覚を磨く場です。地域に
働く場所があることは大事だと思います。

テーマ別報告〈人を生かす経営〉 技術力と共存共栄の精神で「ものづくり」 〜互いに協力し、互いに認め合う〜

弊社はプラスチック成型の金型を作ったり、
メーカーからの依頼で部品を作ったりしていま
す。私はものづくりが好きで、高校を出て
地元の金型の会社に勤めました。

6年ほどして脱サラして昭和57(1982)
年に兄弟で創業しました。不景気で元の会
社が廃業し、そこから3人が入社して5人と
なりました。その頃からという会社です。

きか考えており、平成11(1999)年に同
友会に入会します。

自立型企業や地域密着の企業をめざすと
いう考え方は、当時漠然と考えていたことが
明瞭になり、良い会だと思いました。企業は
社会の公器であり、地域の財産です。

経営理念は、『ものづくりで社会貢献』。
将来を安定させ、幸せに暮らしていくために

テーマ別報告〈新しい事業戦略〉

新事業開発における中小企業のメリット! 〜同友会の学びプラス顧客の分析力〜

私は大手ゼネコンで道路計画の仕事をして
おりましたが、大学院で学びなおし、交通か
ら都市を作ることをめざして独立しました。
新規事業として、地方の公共交通を守る
仕組みづくりをしています。具体的には地方
のタクシー事業を儲かるビジネスにする取り
組みです。会員制の定額乗り放題の乗合タ
クシー。同一方向なら乗り合わせ、違う方向
なら時間をずらすなどの工夫をしています。

これまで通院や買い物目的のみだった高齢者
の外出が温泉利用などにも拡大。タクシーに
よる貨物輸送、タクシー救済事業(便利屋
事業)として調剤薬局などからの代行、電
球交換などのサービスなど。

新規事業は思い付きでやっただけです。
経営指針書にはつきりと謳うことが重要です。
お客様は誰なのか、地域の顧客解像度を高め
ていくと市場が見えてきます。



報告者
森山 昌幸 氏
(株)バイタルリード 代表取締役
島根同友会 代表理事

新規事業は全社一丸でやるのが重要です。
それで社員の自覚が生まれます。最近では、
社員が、交通という切り口で新聞を読むよう
になってきて、新規事業の提案も上がつてき
ます。

弊社では、同友会の言う「科学性」を重
んじています。事業とともに社員が成長して
います。コロナも考え方はチャンスになりま
す。

今回の全研では、「企業の発展は、元気な地域づくり〜条例とキャリア教育で持続地域へ〜」というテーマで、
福岡同友会の中小企業憲章推進部会長の堀弘道さん(株)さくらトータルライフ/田川支部)に報告いただきました。
田川支部の取り組みは月刊同友2019年4月号や2020年9月号に掲載しています。

5月の行事案内

25火 18:30~21:00

女性部委員会
5月例会

SDGsのビジネス事例から自社事業の視点を変える

■ 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センター11F
■ 本山 晴子氏 有限会社コ・リード 代表取締役

2021年度の女性部委員会では、SDGsを年間テーマに掲げて活動します。1年間の例会を通して、SDGsを理解し、新規事業のミッションを定義し、SDGsへの貢献を考え、最終的にはミッションと経営理念を統合することを目指します。第2回目は、共感消費、信頼ビジネス、シェアベースといった視点をどう取り込むか、事例をもとにヒントを学びます。

25火 18:30~21:00

FAST
5月例会

■ 振興センター会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル

28金 19:00~

環境経営委員会
5月勉強会

SDGs勉強会

お申し込み、お問合せは、e.doyu もしくは、同友会事務局まで
お願いします。お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

2021年度 地区・支部総会 一覧

福岡地区総会	5月21日(金) 16:00~17:00	福岡県中小企業振興センター202会議室 (福岡市博多区吉塚本町9-15 092-622-0011) +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
東支部総会	5月21日(金) 18:30~19:30	八仙閣本店(福岡市博多区博多駅東2-7-27 092-411-8000)
福博支部総会	5月21日(金) 18:00~20:00	WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡) +リアル会場(未定)
博多支部総会	5月21日(金) 18:30~20:00	THE LIVELY HAKATA FUKUOKA (福岡市博多区中洲5-2-18 050-3138-2071) +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
中央支部総会	5月21日(金) 18:00~19:00	Dress WEDDING AND PARTY (福岡市中央区西中洲11-21-2F 092-725-7758)
西支部総会	5月21日(金) 17:30~18:30	福岡県中小企業振興センター401会議室 (福岡市博多区吉塚本町9-15 092-622-0011) +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
南支部総会	5月21日(金) 18:00~20:00	WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡) +福岡県中小企業振興センター202 (福岡市博多区吉塚本町9-15 092-622-0011)
筑紫支部総会	5月21日(金) 18:30~19:30	大丸別荘(筑紫野市湯町1-20-1 092-924-3939)
福友支部総会	5月21日(金) 18:00~19:00	WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡) +WITH THE STYLE FUKUOKA (福岡市博多区博多駅南1-9-18 092-433-3941)
青年支部総会	5月21日(金) 18:00~19:00	福岡県中小企業振興センター501会議室 (福岡市博多区吉塚本町9-15 092-622-0011)
玄海支部総会	5月18日(火) 18:30~19:30	THE LIVELY HAKATA FUKUOKA (福岡市博多区中洲5-2-18 092-262-2009)
かすや支部総会	5月21日(金) 17:30~18:30	WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡) +同友会会議室(福岡市博多区吉塚本町9-15-11F 092-686-1234)
糸島支部総会	5月21日(金) 18:00~19:30	WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡) +未定
北九州地区総会	5月17日(月) 17:00~19:50	記念講演「社員のカ・同友会のチカラ ~同友会があるから今がある~」 山城 真一氏 株式会社サンフォート 代表取締役 徳島同友会 リーガロイヤルホテル小倉(北九州市小倉北区浅野2-14-2 093-531-3390)
北九州支部総会	5月17日(月) 20:00~20:50	リーガロイヤルホテル小倉(北九州市小倉北区浅野2-14-2 093-531-3390)
ひびき支部総会	5月17日(月) 20:00~20:50	リーガロイヤルホテル小倉(北九州市小倉北区浅野2-14-2 093-531-3390)
筑豊地区総会	5月18日(火) 17:00~18:10	ザ・プリティッシュヒルズ(田川市栄町3178-1 0947-44-2624)
のおがた支部総会	5月18日(火) 18:10~19:10	ザ・プリティッシュヒルズ(田川市栄町3178-1 0947-44-2624)
飯塚支部総会	5月18日(火) 18:10~19:10	ザ・プリティッシュヒルズ(田川市栄町3178-1 0947-44-2624)
田川支部総会	5月18日(火) 18:10~19:10	ザ・プリティッシュヒルズ(田川市栄町3178-1 0947-44-2624)
県南地区総会	5月18日(火) 18:00~18:45	県南地区の新たな展望を切り拓こう! WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
久留米支部総会	5月18日(火) 19:00~20:00	萃香園ホテル(久留米市櫛原町87 0942-35-5351)
大牟田支部総会	5月18日(火) 19:00~21:00	白亀会館(大牟田市栄町1-2-5 0944-52-8547)
有明支部総会	5月20日(木) 18:00~19:00	白柳荘(柳川市新町16 0944-73-1188)
りょうちく支部総会	5月18日(火) 19:00~20:00	「同友会理念『国民や地域と共に歩む中小企業』を実践しよう!」 原鶴温泉 泰泉閣(朝倉市杷木志波20 0946-62-1140)

一般社団法人福岡県中小企業家同友会

2020年度第11回理事会だより

日時 2021年3月24日(水) 13時30分~16時41分 出席 38名(出席率84.4%) 議長 中野 正志(副代表理事)
会場 福岡県中小企業振興センター 301号室及びWEB会議システム(Zoom)にて開催

■ 第59回定時総会の準備が進む

定時総会の開催について5点が決まった。

1. 対面で開催し、その模様をライブ配信する
(ライブ視聴者は事前に委任状を提出頂き議決には参加できない)。
2. 来賓は福岡県知事及び飯塚市長のみとし、総会議事前にご挨拶を頂くか、ビデオレターを上映する。
3. 交流会は開催しない。
4. 参加者が定員を超える場合は各支部に人数調整を依頼する。
5. コロナ感染が拡大した場合は対面開催を中止し全面WEB開催とする。
そのことを案内に記載する。

■ 会員企業の動き

● 経営革新計画承認企業 2021年2月(県359件/うち同友会会員・企業14件)

・小竹りか行政書士事務所 小竹 理香氏(東支部)
(テーマ)非公開

・(株)亀蜜本社・亀草庵 藤江 敬子氏(のおがた支部)
(テーマ)蜂蜜漬のすっぽんを粉末化し、
すっぽんオイルとの混合カプセル化

・ジモコムかすや 中山 裕雄氏(かすや支部)
(テーマ)チベット体操教室のオンライン対応化

・(有)ウインズ 小山 昌宏氏(東支部)
(テーマ)中古車を活用した、マンスリーレンタカー事業の展開

・(株)きねや 明石 勝善氏・田中 悠喜氏(ともに東支部)
(テーマ)コロナにより当店舗に行きづらいお客様への
移動販売車でうどんを提供する

・(株)飯屋 飯屋 佳高氏(東支部)
(テーマ)地域文化からデザインを。
「博多鯉口シャツ」を企画・販売で全国展開へ

・やわらか製作所(株) 内野 克彦氏(りょうちく支部)
(テーマ)家庭用水耕栽培ウレタンの小口販売及び
緩衝保護マットの用途別オーダーメイド販売

※累計で福岡県全体では7,928件、会員企業は延べ518件

● 表彰など ● 全国健康保険協会福岡支部 令和2年度「健康づくり優良事業所 ゴールド認定事業所(69)」

計測検査(株) 坂本 敏弘氏(北九州支部)
(株)博多印刷 白石 雄士氏(糸島支部)・印藤 健氏(福友支部)・田口 堅一氏(福友支部)
ビズ・リファイン(株) 中村 孝浩氏(東支部)
(株)丸藤 藤 信行氏(博多支部)

理事会議事録はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にて御覧下さい



小さなパン屋が社会を変える ～世界にはばたくパンの缶詰～

撮影・文 株式会社ココスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)

良い本との出会いがありました。同友会の会員の皆様にご紹介したいと思い、ペンをとりました。「小さなパン屋が社会を変える ～世界にはばたくパンの缶詰～」(著者・菅聖子氏)という本で、栃木県にあるパン・アキモの社長で、世界初のパンの缶詰を作り上げた秋元義彦さんの物語です。ビジネスと社会貢献を両立させるパン・アキモの人を巻き込む仕組みづくりとは?「我々は善意でやっているわけではない、ビジネスをしているのだ」と彼は言い続けてきました。私たちは堂々と儲けなければなりません。儲けなければ継続はできないからです。

(本文より)

- 第一章 助けになりたいーパンの缶詰誕生秘話
- 第二章 缶詰が売れないー大きな視点で考える
- 第三章 缶詰がすてられる?ー救缶鳥プロジェクト発進
- 第四章 被災地や海外へーピンチを乗り越える
- 第五章 人と人をつなぐー救缶鳥をめぐる取り組み
- 第六章 世界とつながるー夢をかなえていく仕事エピソード 心を満たすパン屋になる。



以上がこの本の内容です。我々、経営者にとって学びにつながる本だと思います。ぜひ購読いただければと切に願うものです。



「小さなパン屋が社会を変える」 世界にはばたくパンの缶詰

著者名 菅聖子 発行年 2018年11月
発行所 株式会社ウェッジ

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?

このコーナーの記事を募集します。地域の紹介や雑学、趣味などテーマは自由です。

投稿方法 郵送、メールいずれも可。表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。

送付先 郵 送/一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号福岡県中小企業振興センタービル11階
メール/s_asahi@fukuoka.doyu.jp (福岡同友会事務局 旭まで)

みなさんの投稿をお待ちしています

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<https://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索

アンケートにご協力ください

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

回答締切 5月31日(月)

